

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども発達支援むぎいるkariya				
		公表日2025年 3月 25日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	3	限られたスペース、コンセント配置を考えながらマット等の位置を工夫している。	定員人数最大になった場合、スペースがかなり狭いため、配置に要検討が必要。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		ワンフロアなので玄関からすぐに保育室が見えると利用児も分かりやすい。スロープもあり、段差も少ないように工夫している。また、動線を妨げないよう意識して物の配置を行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、清掃や使用した物の消毒、洗濯をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1		振り返りは今後行っていく予定。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員間で意向を共有、改善に向けて検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	会社内での研修を行っている。	事業所内の委員会主催の研修を増やしていきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6		保護者からの話や職員からの意見も取り入れて考えている。	利用児ごとのニーズや課題を明確に分析し、支援計画を作っていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	職員間での情報共有、共通理解をその都度、確認して検討している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1		支援内容を目につく場所に表記し意識して支援できるようにしていく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	毎日の記録をもとに利用児の様子を把握、確認している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	1		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		保育士中心で考え、職員全員に共有し、行っている。会社内の他事業所と活動内容をお互い、参考に出来るように連携している。	

	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節に沿った内容を取り入れつつ、童謡やわらべうた等に変化を持たせている。製作でも様々な素材や方法を使って楽しめるように工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		前回利用の様子を事前に確認、朝礼時にはその日の活動内容や動きの伝達を行い、確認がとれるようにしている。また、利用児の体調等の情報共有を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		送迎で難しい面もあるが時間が作れるように時間調整し、努力している。	全員参加の時間がなかなか作れないがその都度、情報共有できるように意識して声を掛け合っている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		毎回、担当者が記録に残し、共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	1	その都度気になる点はすぐに検討するようにしている。	適宜よりよい支援のための話し合う時間を作り、検討する時間を確保する。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		同じ会社内の訪問看護、リハビリ事業所と連携し、情報共有をしている。適宜、指示書等の依頼をし、利用児に合った医療的ケアが提供できるようにしている。	会社外の訪問看護を利用している利用児の情報共有を積極的に行い、連携をとっていく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		支援内容の情報共有を密に行うため、コンタクトを増やしていく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	3		必要に応じて行っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	1	3		地域の児童発達支援センターとのやりとりがないため、積極的に研修や会議などでコミュニケーションを図り、連携に繋げていく。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		安全に配慮したうえで地域の保育園と交流する機会を作っていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時に利用児の様子を伝え合い、情報を共有している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	必要な家族に対して、職員間で適切な対応が出来るように情報共有している。	家族に対して案内する研修等の情報があまりないので色んな視点から研修の種類を広げ、提供していきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	その都度、保護者からの相談に対応している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6		保護者同士の交流が持てる場や行事を今後考え、行っていく。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		相談や申し入れがあった場合、職員間で検討し、なるべく応えることが出来るように対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタグラムで保育の様子を発信、また送迎時に保護者へ具体的にどんな1日を過ごしたか伝えるように意識している。	伝達事項がある際には口頭でのお知らせが多く、伝え漏れがあるかもしれない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		今後、地域交流を積極的に検討する。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		利用児の健康情報、薬情報はすぐに確認できるようにまとめている。また、薬の変更があった際にはその都度お薬手帳をコピーし確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		食事は持参してもらっている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		その都度、検討改善に努めている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7			